



立教大学アジア地域研究所 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「21世紀海域学の創成」プロジェクト 公開シンポジウム

## 近世から近現代にいたる海域世界の社会統合 —外来系住民と現地社会

東西海洋交通の要衝であったインド洋、南・東シナ海、太平洋には、来航者を受け入れ外部世界への窓口となる港市が、各地で発展を遂げた。港市は、諸海域を結びつけ広域ネットワークを形成するとともに、地域の結節点となり地元社会の構築にも寄与した。本シンポジウムでは、これらの港市が外来系住民や地元の人々を抱え込みながら、いかなる社会統合を展開したのか、その歴史的過程を考察し広域秩序や海域秩序さらに地域秩序の構築のされ方を検討する。合わせて、21世紀における港市の果たす役割についても展望する。

日時：2015年 4月 25日（土）10：30～17：00  
場所：立教大学池袋キャンパス 太刀川記念館3階多目的ホール

入場無料  
申込不要

<午前の部 10:30～12:30>

開会挨拶 弘末雅士（本学文学部教授）

報告 1 17～18世紀インドにおけるアルメニア海洋商人と英国東インド会社：「1688年協約」をめぐる

重松伸司（追手門学院大学オーストラリア・アジア研究所 所長）

報告 2 西カリマンタンの移民と社会変容

太田 淳（広島大学大学院文学研究科准教授）

報告 3 東インドにおけるヨーロッパ系住民と現地人妻妾：植民地体制下の婚姻をめぐる

弘末雅士（本学文学部教授）

<午後の部 13:30～17:00>

報告 4 東インドにおけるアラブ系住民と社会統合：インドネシア・アラブ人協会によるイスラーム主義とナショナリズムの融合

山口元樹（日本学術振興会特別研究員 PD）

報告 5 オセアニアにおける Beachcombers

豊田由貴夫（本学観光学部教授）

報告 6 タイとマレーシアにおける華人と宗親総会

吉原和男（アジア地域研究所特任研究員）

報告 7 東南アジアにおけるアフリカ系移住者

栗田和明（本学文学部教授）

パネルディスカッション モデレーター 竹中千春（本学法学部教授）

閉会挨拶 上田 信（本学文学部教授・アジア地域研究所 所長）